

令和元年度の教育大綱関連事業について

◆幼児期の取り組み

子どもの健やかな成長に向けた切れ目ない支援を推進します (予算額:15,082,482 千円)

<主な事業> (予算額)

○病児保育事業(ほいく課) ……57,701 千円

目的	病児保育の実施により保護者の就労等を支援します。
手段・手法	・市立病院の敷地内に設置する病児保育施設において病児保育を実施します。 ・市内の病児保育運営事業者に対して補助金を交付します。
R 元年度の 実施事項	対象児童:市内在住の生後6か月から小学校6年生までの児童 施設:大和市病児保育室ぼかぼか(公設) 定員 4人 もみの木医院病児保育室(民営) 定員15人 十六山病児保育室 Bambini(民営) 定員15人

○民間保育所建設・増設支援事業(ほいく課) ……210,026 千円

目的	民間認可保育所の設置等を支援し、保育所等入所待機児童の解消を図ります。
手段・手法	・社会福祉法人等の保育所設置認可申請等の手続きを支援します。 ・社会福祉法人等に対して補助金を交付します。
R 元年度の 実施事項	(予定) 施設:民間認可保育所の新設 計8カ所 等 定員:計320人 【※参考 公私連携型保育所等整備事業】 ・送迎ステーション事業や一時預かり事業等、様々な事業を実施する低年齢児型保育所を旧青少年センター跡地に整備します。

◆義務教育期の取り組み

夢や目標に向かってたくましく生きる子どもを育てます

(予算額:1,430,167千円)

<主な事業>

(予算額)

○放課後児童クラブ施設整備事業(こども・青少年課)

・・・142,401千円

目的	放課後児童クラブへの入会希望児童数が、既存施設の定員を超えると予測される小学校について、受入れ体制の整備を行います。
手段・手法	・中央林間小学校の敷地内に専用プレハブ施設を建設します。
R元年度の実施事項	・既存プレハブを取り壊し、同じ場所にプレハブを新設 ・定員120名(約332㎡・軽量鉄骨・2階建て) ・工事請負費 140,962千円(設計業務、解体工事費用含む)

○特別支援教育推進事業(指導室)

・・・103,765千円

目的	教育上配慮を要する児童生徒に対し、教育的ニーズに応じたきめ細やかな支援を行うことにより、特別支援教育の充実を図ります。
手段・手法	・市内の小中学校を対象に、必要に応じて特別支援教育ヘルパーを配置します。 ・市内の小中学校を対象に、特別支援教育スクールアシスタントを配置します。 ・大和市特別支援教育巡回相談チームを各学校の要請を受け派遣します ・医療的ケアの必要な児童生徒が在籍する学校に看護師を派遣します。 ・特別支援教育における専門的な研修の充実を図ります。 【※参考 大和市特別支援教育センター「アンダンテ」】
R元年度の実施事項	・特別支援教育ヘルパーを配置し、特別支援学級に在籍する児童生徒の介助等にあたります。 ・特別支援教育スクールアシスタントを配置し、教員とともに、通常学級に在籍する学習障がい等のある児童生徒の指導にあたります。 ・特別支援教育巡回相談チームを派遣し、保護者及び教職員への支援を行います。 ・医療的ケアの必要な児童生徒への対応の充実を図るため、看護師を3校に派遣します。 ・特別支援教育における研修の充実を図ります。

○学力向上対策推進事業(指導室)

・・・146,161 千円

目的	児童生徒への学習支援を行うとともに、特に小学校の若手教員の指導力を養うことで、総合的に学力の向上を図ります。
手段・手法	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校において、「放課後寺子屋やまと」「夏休み寺子屋」を開催し、児童の予習復習等の学習支援を行います。 ・小学校教員の指導力向上のための支援を行います。 ・中学校において、授業中及び放課後の学習支援を行います。
R 元年度の 実施事項	<ul style="list-style-type: none"> ・指導主事が学校へ出向き、学校の研究や授業の指導などについて助言します。 ・小学校において、放課後子ども教室の開催日時に合わせて学校の空き教室等を活用した放課後寺子屋やまとを開催し、児童の学習支援を行います。 ・経験の浅い小学校教員に対する指導を継続的に実施し、授業力の向上を図ります。 ・中学校において、少人数指導非常勤講師2人(英語・数学)、学習支援コーディネーター(1人)、学習支援員(1人)を各校に配置し、生徒の学習支援を行います。

創意に満ちた活力ある教育環境を整えます

(予算額:4,591,713 千円)

<主な事業>

(予算額)

○北大和小学校増築事業(教育総務課)

・・・1,093,227 千円

目的	児童数の増加に伴う教室不足を解消し、教育環境を確保します。
手段・手法	・敷地西側に校舎の増築、既存プレハブやプールの解体、体育館の建替え、校庭整備等を行います。
R 元年度の 実施事項	<ul style="list-style-type: none"> ・増築校舎:鉄筋コンクリート造4階建て 防音仕様 延床面積約2,924㎡(普通教室10室、特別教室4室) 平成30～令和元年度 増築併行防音工事 令和2年4月 使用開始予定

<主な事業>

(予算額)

○いじめ等対策事業(指導室)

・・・20,610千円

目的	市立小中学校におけるいじめの撲滅を目指すとともに、子どもたちが安心して学校生活を送れるような学校づくりに取り組みます。
手段・手法	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめ防止を学校指導者・地域で考え、行動に移せるよう教育フォーラムや教職員を対象とした研修会を開催します。 ・学級の状態や個人の成長の様子を客観的に把握し、より良い集団づくりやいじめ・不登校の防止に役立てるために学級集団アセスメントテストを実施します。 ・全小中学校に対して児童・生徒指導研修会(訪問研修)を実施します。
R 元年度の 実施事項	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめ・不登校の更なる減少を図るため、全小学校5年生及び全中学校1年生を対象に学級集団アセスメントテストを実施します。 ・全小学校において指導体制の充実を図るため、児童支援中核教諭を校内から選任し、その授業代替要員として非常勤講師を配置します。 ・大和市のいじめ防止基本方針に基づき、いじめ問題対策連絡協議会や、いじめ問題対策調査会を定期的に開催します。 ・学級集団アセスメントテスト実施後、学校が主体的かつ迅速に児童生徒への対応ができるような活動を進めるため、①中学校の生徒指導担当者と小学校の児童支援中核教諭、②市立小中学校の半分の学校を対象に研修会を実施します。 ・スマートフォン用の匿名報告・相談アプリケーションを市内全生徒が使用できる環境を整備します。

<主な事業>

(予算額)

○英語教育推進事業(指導室)

・・・40,345千円

目的	外国語を通して積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度、言語、文化について理解を深めるコミュニケーション力の向上を図ります。
手段・手法	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校外国語活動を充実させるため、外国語の音声や基礎的な表現に慣れ親しむことを目的に、外国語を母語とする外国語活動指導助手を配置します。 ・中学校の英語指導を助けるため、外国人の英語指導助手が各中学校を巡回し、指導にあたります。
R元年度の 実施事項	<ul style="list-style-type: none"> ・市内の全中学校へ英語指導助手を派遣します。 ・市内の全小学校へ外国語活動指導助手を派遣します。 <ul style="list-style-type: none"> ◆5、6年生:年間35時間 ◆3、4年生:年間17時間 ◆1、2年生:年間5時間 ◆特別支援級:年間2時間程度 ・市内の全小学校において短時間学習を行います。 ・中学校外国語教育、小学校外国語活動の充実に向けて、引き続き英語教育スーパーバイザーを設置します。 ・夏休みにイングリッシュ・デイを開催します。

<主な事業>

(予算額)

○教育用コンピュータ整備事業(教育研究所)

・・・325,611千円

目的	教育の情報化を推進するため、コンピュータ機器等の整備と保守を行います。
手段・手法	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校のコンピュータ教室等に設置した教育用コンピュータの保守管理を業者に委託します。 ・校務用及び教育用コンピュータを教員数や児童生徒数、及び活用方法により適性な配置、整備を行います。
R元年度の 実施事項	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学校のコンピュータ教室等に設置した教育用コンピュータ及び周辺機器の保守管理を行います。 ・ICT機器を有効活用するため、ICT支援員を配置します。 ・校務用コンピュータの保守管理を行います。 ・中学校(1年生)の全クラスにプロジェクトを整備します。

◆ 幼児期～義務教育期～青年・成人期の取り組み

健康に関する教育を推進します

(予算額:380,058千円)

<主な事業>

(予算額)

○母子保健相談指導事業(すくすく子育て課)

・・・4,246千円

目的	安全な出産を迎えるために母体の健康管理を行うこと、出産後の健康管理や育児・健康面における情報提供や相談に対応することで、子育て家庭の支援を行います。
手段・手法	<ul style="list-style-type: none"> ・妊娠届を受理し、母子健康手帳を交付します。 ・妊娠・出産に向けた知識の普及啓発のための「プレママ・パパ教室」「イクメン講座」、乳幼児期の育児教室として「もぐもぐ教室」「おべんとう教室」「1歳児育児教室」を開催します。 ・2歳児歯科相談および育児相談を開催します。 ・1歳6か月児健康診査後のフォロー教室として「おやこ教室」を開催します。 ・子育て支援ツールとして IT 機能を充実します。
R 元年度の 実施事項	<ul style="list-style-type: none"> ・母子健康手帳の交付 交付場所:保健福祉センター ・各種啓発教室等の開催 <ul style="list-style-type: none"> プレママ・パパ教室:48回(定員30組) イクメン講座 : 3回(定員35組) もぐもぐ教室 :24回(定員25人) 1歳児育児教室 :12回(定員25人) おべんとう教室 : 3回(定員30人) 2歳児歯科相談 :12回(定員40人) 育児相談 :48回(エコチル育児相談12回) おやこ教室(発達面フォロー教室) :24回(1回10～16組) ・「らくらく予防接種」サイトの付加機能として、子育て何でも応援メール、電子母子手帳及び赤ちゃんまもるくんを運用します。

<主な事業>

(予算額)

○小学校図書館教育推進事業(指導室)

…51,270千円

目的	学校図書館の機能を十分発揮できるよう、図書環境の充実を図ります。
手段・手法	<ul style="list-style-type: none"> ・国が定める学校図書館図書標準に基づき、計画的に図書を購入します。 ・各小学校の学校図書館に学校司書を配置します。 ・学校図書館に配架している新聞を普通教室にも配架します。 ・子どもたちの読書活動推進のため、読書フェスティバルを開催します。 ・教員向け「調べる学習」の研修を実施します。 ・授業における新聞の活用方法について研修を実施します。
R元年度の実施事項	<ul style="list-style-type: none"> ・国が定める学校図書館図書標準に基づき、小学校全19校において計画的に図書を購入します。 ・各小学校に学校司書を1人配置します。 ・蔵書の電算管理システムを用いて、データの活用を進めます。 ・図書館、小学校の5、6年生及び特別支援級の教室に新聞を配架します。 ・11月に大和市子ども読書フェスティバルを開催します。

○中学校図書館教育推進事業(指導室)

…34,058千円

目的	学校図書館の機能を十分発揮できるよう、図書環境の充実を図ります。
手段・手法	<ul style="list-style-type: none"> ・国が定める学校図書館図書標準に基づき、計画的に図書を購入します。 ・各中学校の学校図書館に学校司書を配置します。 ・学校図書館に配架している新聞を普通教室にも配架します。 ・子どもたちの読書活動推進のため、読書フェスティバルを開催します。 ・教員を対象に「調べる学習」の研修を実施します。 ・授業における新聞の活用方法について研修を実施します。
R元年度の実施事項	<ul style="list-style-type: none"> ・国が定める学校図書館図書標準に基づき、中学校全9校において計画的に図書を購入します。 ・各中学校に学校司書を1人配置します。 ・蔵書の電算管理システムを用いて、データの活用を進めます。 ・図書館、全普通教室及び特別支援学級に、新聞を配架します。 ・11月に大和市子ども読書フェスティバルを開催します。

<主な事業>

(予算額)

○健康都市大学事業(図書・学び交流課)

・・・4,558 千円

目的	学びを通じた、市民の新たな居場所づくり、市民同士の繋がりの創出を図るとともに、市民の充実した学習環境を整備します。
手段・手法	・市が実施する生涯学習講座等に共通のルールを設定し、受講記録や周知を総合的に行います。また、市民が講師を務め、市民同士で学び合える場を企画・運営します。
R 元年度の 実施事項	・市民が講師を務め、毎日開催する講座を企画、運営します。 ・市が開催する全講座を網羅したガイドブックの発行や、共通の受講記録の管理運営を行います。